

平成28年度 日南市立油津小学校 自己評価及び学校関係者評価

□ 平成28年度の基本方針及び教育目標

【4段階評価】

明るく素直な子どもたち、学校や地域の伝統・歴史・文化、児童への愛情と研修意欲にあふれる教師集を学校のよさとしてとらえ、結果に責任もてる教育を展開することで、教育目標「心豊かでたくましく、自ら学び未来を拓く油津健児の育成」を目指す。

- 4…期待以上
- 3…ほぼ期待どおり
- 2…やや期待を下回る
- 1…改善を要する

	重点目標	方策・手段	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
				項目別	総合	総合評定	コメント
自 ら 学 ぶ 力 の 育 成	<input type="checkbox"/> 基礎学力の向上  <input type="checkbox"/> 家庭学習の充実	1 基礎学力が身に付く指導  2 学習習慣が身に付く家庭学習の指導	○ 校時程に朝の時間（さわやかタイム）を週2回設定し、有効活用を図る。	4	3	3	○ 学力を向上させる「力のある学校」の要素①気持ちの揃った教職員集団②戦略的で柔軟な学校運営③豊かなつながりを生み出す生徒指導④全ての子どもの学びを支える学習指導という全ての要素を油津小学校は、備えていると思う。  ○ 学力格差「つながりの差」を今後どのように克服していくか自信をもって実践を進めてもらいたい。
			○ わかる楽しい授業にするため、授業研究や授業評価を積極的に進め、授業の改善に努める。	3			
			○ 個に応じた指導を行う時間を確保し、基礎学力の定着・学力の向上を図る	2			
			○ 学力調査等の結果分析など、実態に基づいた研究実践や指導改善を行う。	2			
			○ 家庭と連携を取りながら、家庭学習の内容や時間を適切に設定し、家庭学習の習慣化を図る。	3			
			○ 保護者に対して家庭学習の手引きなどを配付し、家庭学習の環境を整える。	3			
			○ 学力向上を支える基本的な生活習慣の取組（早寝・早起き・朝ご飯・あいさつ）を行う。	3			
			○ 学校便り、PTA新聞などを用いて、保護者への積極的な情報発信の拡大を行う。	3			

	重点目標	方策・手段	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
				項目別	総合	総合評定	コメント
規範意識のある豊かな心の育成	<input type="checkbox"/> 規範意識の向上 <input type="checkbox"/> 豊かな心の醸成	① 休日や放課後等の生活指導の徹底 ② 「当たり前」実践指導の充実	○ あいさつや返事について継続的に指導を行い、その必要性を児童に理解させ、実践させている。	3	3	3	<input type="checkbox"/> キャリア教育については、小学生のうちから正しい職業観を身に付けさせてもらいたい。  <input type="checkbox"/> 町の活性化のために、子どもががんばっている姿を見ることができた。  <input type="checkbox"/> 油津地域協議会の取組に対する学校側の全面的な協力を得て、成功を取ることができた。5年生の発表には感動を覚えた。
			○ 登校時、PTA生徒指導部や地域の見守り隊の方々にあいさつができるなど児童と地域の交流を深める。	2			
			○ 発達段階に応じた基本的な生活習慣の育成を教育課程の位置づけのもとに実施し、効果を上げている。	2			
			○ 道徳の時間や教育活動全般における道徳教育の取組は、児童の健全な育成に役立っている。	3			
			○ 自分や他の人を大切に思う言動が取れるようにする。	2			
			○ 交通安全・学校生活のきまり等、ルールを守り子どもを育てる。	3			
			○ 生徒指導上の問題行動への取組を強化する。(不登校児童、問題行動などの減少に向けて)	3			
			○ 特別支援の必要な児童に対する校内体制の整備と実のある実践に努める。	3			

	重点目標	方策・手段	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
				項目別	総合	総合評定	コメント
たくましい体の育成	1 基礎体力の向上	① 楽しく運動に取り組むための指導の工夫  ② ア 生活習慣指導  イ 栄養教諭との連携による食の指導	○ 体力向上プランを中心に、授業での体力づくりプログラムを充実させる。	3	3	3	○ 家庭での食事については、何を誰と食べているかをアンケートの視点を変えてみると、具体的な食育の指導に役立てることができると思う。  ○ 孤食の児童が多かったり、子どもの生活習慣病が増えたりしている現状を家庭と連携して改善していくように努力してほしい。  ○ 1日の食事の割合は、朝：昼：夕が3：5：2。給食の重要性が増している。
	2 生活習慣の定着		○ 授業以外の体育的活動の見直しを行い、運動機会の充実を図る。	3			
	○ 道徳や特別活動等の指導をとおして、学級・学年・全校の望ましい仲間づくりを促し、児童の心の健康を保持増進させている。		2				
	○ 健康や食に関する取組や体力づくりを進め、学習の土台づくりを行う。		3				
	○ 通信等をとおして、家庭への啓発を行い、運動習慣の定着を図る。		3				
	○ 「早寝・早起き・朝ご飯」運動や生活調べなどを通じて、基本的な生活習慣の確立を図る。		3				
	○ 栄養教諭と連携を図りながら、食育の推進と充実に努めるとともに、日常の教育活動の場でも意識的に取り組む。		3				
校長所見	○ 平成28年度の本校の教育理念である「導き、見守り、見届ける教育」について、2年目は、さらにステップアップしたほぼ満足のいく取組であった。それは、保護者の「学校アンケート」の結果からも、うかがい知ることができる。今後も、自己肯定感の高揚を一層高め、心豊かでたくましく、自ら学び未来を拓く児童を育成する学校経営を推進したい。 ○ 目指す学校像の中でも、「楽しく夢をもてる学校」を第一に掲げているが、学校生活に目的意識をもって、児童がのびのびと生活し、「楽しく夢をもてる学校」の実現に近づいたのではないかと思われる。						